

飼料問題懇談会の概要について

- 1 日時：平成16年3月26日（金）13時から16時10分まで
- 2 場所：農林水産省三番町分庁舎大会議室
- 3 出席者：委員13名が出席（委員欠席1名、代理出席2名）
- 4 議事概要：
「今後の飼料政策の展開方向に関する実行プログラム（工程表）の措置状況」及び「飼料をめぐる情勢」等を議題とし、意見交換会を行った。（主な意見は次のとおり）
 - ・ 自給飼料増産については目標の達成が厳しい状況にある。食料・農業・農村基本計画及び酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針の見直しに当たり、飼料自給率低下の要因を様々な角度から分析した上で、今後どのような切り口で見直しを行っていくのか、検討の課題を明確にしていくべきである。
 - ・ 畜産の生産構造について、畜種別に問題点を細かく分析した上で、消費者にも我が国の畜産の現状を解りやすい形で示していくことが第一段階として必要である。
 - ・ 日本の畜産は環境に負荷を与えている。こうしたことを国民に理解してもらった上で、日本の農業における畜産をきちんと位置付けていくべきである。
 - ・ 飼料原料の需給がタイトになり、配合飼料価格が高騰していることを踏まえ、今後、我が国の飼料穀物戦略を考えていく中で、備蓄制度、価格補てん制度等を有効に利用していくことが重要である。

問い合わせ先

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1の2の1

生産局畜産部畜産振興課

03-3502-8111 内 3892 03-3501-3777 直通

Fax03-3593-7233

担当：富田、野間、鷹谷

飼料問題懇談会について

1 趣旨

最近の飼料をめぐる状況としては、畜産物需要や畜産経営の動向、国際環境の変化、さらには最近の消費者の「食」の安全性等に対する関心の高まり等様々な変化が見られる。このような状況変化を踏まえ、今後の飼料政策の在り方に関し、「安全」、「安心」、「安定供給」、「安価（低コスト化）」の4つの「安」をキーワードとして追求することにより、我が国畜産の安定的な発展と、これを支える飼料供給構造の確立を図るため、飼料問題懇談会を開催する。

2 主な内容

- (1) 「今後の飼料政策の展開方向に関する実行プログラム（工程表）の措置状況について」
- (2) その他

3 日時

平成16年3月26日（金）13：00～16：00

4 場所

農林水産省三番町分庁舎大会議室

5 メンバー

別紙のとおり

飼料問題懇談会委員名簿

氏名	役職
青沼 明德	全国酪農業協同組合連合会 代表理事専務
阿部 亮	日本大学生物資源科学部 教授
犬伏 由利子	消費科学連合会 副会長
大野 健三	全国農業協同組合連合会 常務理事
生源寺 眞一	東京大学大学院農学生命科学研究科 教授
須田 洵	社団法人配合飼料供給安定機構 理事長
高木 勇樹	農林漁業金融公庫 総裁
續 省三	社団法人日本草地畜産種子協会 会長
手塚 基文	協同組合日本飼料工業会 会長
内藤 廣信	社団法人中央畜産会 常務理事
中村 祐三	全国農業協同組合中央会 常務理事
増田 淳子	ジャーナリスト
山角 誠	飼料輸出入協議会 副理事長
吉田 勝也	全国畜産課長会 会長

(五十音順)